

科目名	建設環境工学演習Ⅲ Practice in Civil engineering Ⅲ			担当教員	水越睦視		
学年	5年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	演習	科目番号	14134037	単位区分	履修単位
学習目標	コンクリートとRC構造の復習として、配合および各種コンクリートの性質、鉄筋コンクリート構造(RC構造)の曲げ応力度と曲げ耐力の算定方法を再確認する。次に、RC構造の応用として、曲げひび割れ幅の算定、偏心荷重を受ける柱とT形断面の応力度、終局耐力の算定方法を習得する。						
進め方	主として配付プリントと教科書を用いて授業を進めていく。講義と演習を組み合わせた形式で実施する。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. コンクリート, RC構造の復習(13) (1) コンクリートの配合設計演習 (2) コンクリートのフレッシュ・硬化コンクリートの性質に関する演習 (3) RCはりの曲げ応力・曲げ耐力の算定演習			・コンクリートの基礎的演習問題とRC構造の応力度と耐力の計算ができる。 C-1, C-2: 平素の演習問題や課題に対する実行力を身につける。			
	[前期中間試験](2)						
	2. RC構造の応用演習(14) (1) T形断面の曲げ応力度と曲げ耐力の算定 (2) 矩形断面の曲げ割れ幅の算定 (3) 偏心荷重を受ける柱の断面耐力の算定			T形RC断面および偏心荷重を受ける柱の応力度と曲げ耐力, 曲げひび割れ幅を算定することができる。 C-1, C-2: 平素の演習問題や課題に対する実行力を身につける。			
	前期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	各期の成績は、定期試験を80%、演習課題への取り組みとその内容を20%で評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	建設材料学(3年), 建設環境工学演習Ⅰ(3年)→建設構造設計学(4年)→建設環境工学演習Ⅲ(5年)						
教材	教科書: 中嶋清実ほか; コンクリート構造(4年持上り), 配布プリント						
備考	再試験を実施する。						